



錦鯉の郷



～ 錦鯉発祥の地～

特別
編集

おぢや

Ojiya

小千谷



錦鯉の里



へぎそば



錦鯉発祥の地へ

泳ぐ宝石を
会いに行こう

山本山高原



小千谷
ラーメン



小千谷縮



小千谷って どんなところ?



船岡公園の桜

サンブラ通り
錦鯉街灯

新潟県中央部、越後平野の南端に位置し、信濃川の河岸段丘に沿って市街地が発展する。泳ぐ宝石といわれる錦鯉発祥の地であり、国の重要無形文化財とユネスコの無形文化遺産に登録される小千谷縮、国の重要無形民俗文化財に指定される牛の角突きなど、独特の文化をもっている。



牛の角突き



自然 豊かな自然が描く 四季の花景色



山本山高原のヒマワリ畑

グルメ



へぎそば

江戸時代から食されるへぎそばは、小千谷縮を織る際に糊付けに使われていた布海苔をつなぎにしているのが特徴。へぎと呼ばれる器に盛り付けることから「へぎそば」と呼ばれ、手を振るようにしてそばを盛り付けることから「手振りそば」とも呼ばれる。



小千谷縮の雪晒し

工芸 独特の風合いをもつ 小千谷縮

江戸時代初期、播州明石から来た堀次郎将後が、越後麻布に改良を加えて完成したのが小千谷縮。緯糸に強い撚りをかけて縮ませることにより独特な「しほ」ができ、雪に晒すことで地の白さを際立たせるのが特徴。

アクセスガイド

鉄道で…	
小千谷駅	上越新幹線・JR上越線で 東京駅 約2時間
小千谷駅	上越新幹線・JR上越線で 新潟駅 約40分
車で…	
小千谷IC	関越自動車道で 練馬IC 228.8km
小千谷IC	北陸自動車道・関越自動車道で 新潟西IC 68.8km
高速バスで…	
小千谷着	池袋駅東口発 約4時間 7～20時の毎正時発
小千谷着	池袋駅東口発 30分 バスタ新宿発 23時発

錦鯉の 品種

錦鯉とは「色や斑紋がある鯉で、観賞用に飼育される鯉」のこと。大正3年(1914)に開催された東京大正博覧会で紹介されたから一般に知られるようになり、品種改良も進んだ。

錦鯉の品種は、バリエーションも多岐にわたり、80種類以上にも及ぶ。なかでも人気が高いのが、「紅白」「大正三色」「昭和三色」で、錦鯉の御三家とも呼ばれている。最も代表的な品種である「紅白」は、白地に紺斑という赤い模様が入る。「大正三色」は紅白に黒い斑紋を点在させたような模様の特徴。「昭和三色」は、大正三色と同じように紅、白、黒の三色だが、腹が多く、線や面状になり、腹まで模様が入るものも多い。



写真提供:月刊錦鯉

錦鯉の 飼い方

錦鯉を飼うのは難しい。そう思っている方も多いのだが、エサの与え方、ろ過装置、水替えなどの基本的なことさえ守れば、意外と手軽に飼うことができる。錦鯉は性格がおだやかで人に慣れやすく、飼育器の大きさや飼育数によって自ら成長を調整する。たとえば、たくさん錦鯉と一緒に飼育すると、成長が緩やかになり、ある一定のサイズで成長がほぼ止まる。したがって、飼育環境を調整することで、理想の大きさに育てることもできる。

写真提供:新日本教育図書

泳ぐ宝石といわれる 日本の国魚・小千谷市の魚 錦鯉の 魅力に迫る!

泳ぐ宝石ともいわれる錦鯉。海外でも人気が高く、小千谷市にも海外から多くの愛好家が訪れている。慣れてくると、手からエサを与えることもできるといって錦鯉。その魅力を探ってみた。



- ①色、模様、形もさまざまで、同じものはないという
- ②大きく育てるなら屋外の庭池で
- ③手軽にガラス水槽で飼うこともできる

錦鯉の 始まり

今から約200年前の文化・文政時代、新潟の二十村郷現在の小千谷市や長岡市の一部では、棚田で米や野菜を栽培していた。棚田の上部には貯水池が造られ、農業用水として利用するほか、冬の食用として鯉を飼育していた。この鯉が突然変異を起こし、色の違う鯉や模様のある鯉が生まれた。以後、改良を重ね、現在のような美しい姿の錦鯉へと変わっていった。



庭があれば、畳半分ほどの池を造って飼うこともできるし、簡単な埋め込み式のプラ池などもある。最近では水槽飼育も増えており、室内やベランダなどで飼うこともできる。

山吹黄金

写真提供:新日本教育図書



慈眼寺

江戸時代に三國街道の宿場町として発展。慶応4年(1868)の北越戊辰戦争では、武装中立を唱えた長岡藩家老・河井継之助と、新政府軍・岩村精一郎が慈眼寺において会谈するが、決裂した。江戸時代後期の遊行僧・木喰上人が約2年滞在したことから、微笑仏ともいわれる木喰仏が数多く残されている。

歴史 北越戊辰戦争 木喰仏

江戸時代に三國街道の宿場町として発展。慶応4年(1868)の北越戊辰戦争では、武装中立を唱えた長岡藩家老・河井継之助と、新政府軍・岩村精一郎が慈眼寺において会谈するが、決裂した。江戸時代後期の遊行僧・木喰上人が約2年滞在したことから、微笑仏ともいわれる木喰仏が数多く残されている。



錦鯉を飼育する小千谷市
東山地区の棚田

今から約200年前の文化・文政時代、新潟の二十村郷現在の小千谷市や長岡市の一部では、棚田で米や野菜を栽培していた。棚田の上部には貯水池が造られ、農業用水として利用するほか、冬の食用として鯉を飼育していた。この鯉が突然変異を起こし、色の違う鯉や模様のある鯉が生まれた。以後、改良を重ね、現在のような美しい姿の錦鯉へと変わっていった。



庭があれば、畳半分ほどの池を造って飼うこともできるし、簡単な埋め込み式のプラ池などもある。最近では水槽飼育も増えており、室内やベランダなどで飼うこともできる。

山吹黄金

写真提供:新日本教育図書

**小千谷市の生産者が
連続総合優勝**

海外での人気も高く、品評会にも海外から訪れる方を多く見かけます。2016年には第56回を数えた歴史のある品評会で、約90の生産者が参加し、約900尾の出品がありました。特別賞となる全体総合優勝1席は、この頂点に立つ錦鯉です。近年、小千谷市の生産者が連続受賞し、地として誇りにしています。



小千谷市錦鯉漁業協同組合事務局長 風間茂男さん

新潟県錦鯉品評会

錦鯉の生産が盛んな新潟県では、9月から11月初旬に県内各地で錦鯉の品評会が行われる。なかでも最大規模を誇るのが小千谷市で開催される「農林水産祭参加 新潟県錦鯉品評会」。県内の錦鯉生産者が育てた錦鯉が一堂に集まり、錦鯉の美と生産者の技術を競うとともに、優秀品種交流の場にもなっている。

開催DATA

開催日
毎年10月末～11月初旬の土・日曜の2日間
開催場所
小千谷市総合体育館
コミュニティプラザ
◎小千谷市大字桜町4915 ◎小千谷駅角バス停から10分の総合体育館入口下車、徒歩3分。または関越自動車道小千谷ICから車で2分 ◎入場整理券500円 ◎350台
主催 新潟県・新潟県錦鯉協議会
◎0258-41-1405



丹精こめて育てた
錦鯉の美を競う

品評会は、品種ごとに11分類し、さらに体長によって15cm未満のものから80cmを超えるものまで15分類し、全165分類でそれぞれに賞を競う。全体総合優勝1席には農林水産大臣賞が授与される

**近年の
全体総合優勝1席
受賞鯉**

出品は匿名。体型・色彩・斑紋・素質・品位・風格などを総合審査し、審査員の記名投票によって順位が決まる。全体総合優勝1席(農林水産大臣賞)は、全出品鯉の中から1点を記名投票によって選ばれる。

写真提供:月刊錦鯉



第56回(2016年)紅白
小千谷市/大日養鯉場

第55回(2015年)紅白
小千谷市/大日養鯉場

第53回(2013年)昭和三色
小千谷市/伊佐養鯉場

第52回(2012年)紅白
小千谷市/大日養鯉場



小千谷市錦鯉漁業協同組合副組合長 間野 等さん

**いい模様の錦鯉を
見つける楽しみ**

子どもの頃から錦鯉養殖業の親の手伝いをしてきたので、錦鯉ひと筋です。季節や天気、あるいは品種によってもエサの種類や配合を変えます。また、池によってもその土壌に適した品種というのがあります。自然の中で育てるので難しい反面、いい模様や鮮やかな色付きの錦鯉を見つけたときは大きな喜びになります。

日本庭園

大小の滝や橋などを配置した池に、オーナーから預かった約140尾の錦鯉が泳ぐ。錦鯉オーナーとは、小千谷市の生産者から購入した錦鯉を、錦鯉の里が預かり飼育・展示しているもの。



池に泳ぐ錦鯉は、冬期は観賞棟の観賞池に移される



小千谷市錦鯉の里は純日本風の門構え



小千谷市錦鯉の里のマスコットキャラクターである鯉丸くんがお出迎え



小千谷市 錦鯉の里

小千谷市錦鯉の里は、錦鯉の街・小千谷のシンボリック的存在。いつでも身近に錦鯉を観賞することができ、歴史や品種、飼育方法などについて学べる世界で唯一の錦鯉ミュージアムだ。

◎小千谷市内1-8-22 ◎小千谷駅角バス停から4分の本町中央下車、徒歩5分。または関越自動車道小千谷ICから車で5分 ◎大人510円、小中学生300円 ◎9～18時(12～2月は～17時) ◎無休(臨時休あり) ◎70台

資料展示コーナー



錦鯉の発祥から現在への移り変わり、品種の説明などの資料を展示。ビデオでは錦鯉の飼育方法や品評会の様子を放映する。

資料展示コーナーでは水槽で飼育する錦鯉も見られる

**プロに教えてもらう
観賞の仕方**

錦鯉の美しさといえは、やはり模様が目が行きまわす。錦鯉には同じ模様がないといわれ、個体ごとに模様や色が異なります。体型は丸みを帯びたものが美しいといわれ、バランスが整い、より丸みを帯びたものがよいとされています。錦鯉の里には、約250尾が飼育・展示されています。すくすく、個体ごとに異なる模様や体型を見比べてみるのも楽しみです。



小千谷市錦鯉の里マネージャー 平沢勝佳さん

錦鯉の模様の美しさは、上から見下ろすように観賞するとよくわかる

事前に連絡した場合は、約15分間のご案内も可能です

ここにも注目!

JA越後おちや 錦鯉市場

錦鯉市場は、生産者と販売業者が安心して取引できるように開催される定期市場で、4～11月の毎週金曜日に開催される。生産者は、出荷鯉と3週間同居させた小さな錦鯉を検査機関で検査し、安全が確認された後、出荷鯉の出荷が許可される。透明度のよい二重袋に水、酸素を詰めて出荷し、市場内でセリにかけられる。「舟」と呼ばれる青いケースに入れられた錦鯉が市場内の水路に流され、「番台」と呼ばれるセリ人の掛け声に合わせて、続々と落札されていく。一般見学は不可。

◎小千谷市大字南荷場3396 ◎関越自動車道小千谷ICから車で15分 ◎20台



◎市場内に水路が流れ、2階からもセリに参加できる
◎舟に乗せられ、セリを待つ錦鯉



**魚沼産コシヒカリ
「おちや米」**

清らかな水が潤す豊かな大地、昼と夜の寒暖の差が激しい気候が育む魚沼産コシヒカリ「おちや米」。独特の甘みと粘り気、水晶のような輝き、そして冷めてもおいしい米は、小千谷自慢の逸品。購入は小千谷市総合産業会館 サンプラザ逸品館へ→P7



観賞池

大きなドーム型展示棟にあり、観賞池には小千谷生まれの錦鯉が約20品種110尾が泳ぐ。大きなものでは1mを越し、間近で見られる錦鯉の群れは迫力満点。

広々とした観賞池では錦鯉にエサを与えることもできる

隣接するおすすめスポット

**小千谷市総合産業会館 サンプラザ
小千谷織物工房**

1階の織之座では小千谷縮の歴史や技術を紹介する展示ギャラリーや機織りの実演が見られ、コースター織り体験もできる。2階の匠之座では小千谷縮を使用した和装小物やインテリア、テーブルウェア、洋服などを販売



織之座内の体験工房では、コースター織り体験600円、所要約20分を楽しめる。自分のための小千谷みやげに最適

織之座(小千谷織物同業協同組合)



◎ブックカバー 3020円、小銭入れ1730円、笹団子根付540円、そら豆根付760円。どれも小千谷縮の風合いが見事に生かされている



四季のイベントと花便り

10月下旬

●にいがたけんしきごいひびんしょうかい
新潟県錦鯉品評会

県内の生産者が錦鯉を持ち寄り、11品種の体長別15部門で体型、模様、色などを競う。→P5

9月上旬～中旬

●やまもとやまこうげんのそばのはな
山本山高原のそばの花

山本山高原に広がる約6万㎡のそば畑。雪蔵の里(→P6)では、ここで収穫したそばを味わえる。

9月上旬～中旬

●そでのさわのたなだ
外之沢の棚田

小千谷市最南部にある棚田。高台に立てば、稲穂の彼方に魚沼丘陵や三国山脈が見渡せる。

9月9日・10日

●かたかいまつり
片貝まつり
浅原神社の秋季例大祭。世界最大の正四尺玉やスターマインなど、約1万5000発を打ち上げる。



4月上旬～中旬

●ふなおかこうえんのさくら
船岡公園の桜

約300本の桜が植えられた市内屈指の桜の名所。4月上旬からほんほりが灯り、夜桜も楽しめる。

5月中旬～下旬

●やまもとやまこうげんのなのはな
山本山高原の菜の花
山本山の中腹に約3万5000㎡の菜の花畑があり、一面を黄色く染める花の絨毯が広がる。

5～11月の毎月1回開催

●うしのつぎ
牛の角突き

江戸時代後期から続く伝統行事で国の重要無形民俗文化財。牛同士がぶつかり合う姿は迫力満点。



2～3月の晴天の日

●おちやちみゆきさらし
小千谷縮雪晒し

反物を雪上に晒すことで生地が漂白され、小千谷縮独特の風合いを生む。春を呼ぶ風物詩。

2月中旬

●ほんやらどうまつり
ほんやら洞まつり

山谷・坪野地区の雪原にほんやら洞(かまくら)を作り、ろうそくを灯す。花火の打上げもある。

1月中旬

●さいのかみ
寒の神

松飾りやしめ縄などを焼く小正月の行事。浅原神社のものが規模が大きい。

2月下旬

●おちやふうせんいっき
おちや風船一揆

雪上で行われる熱気球競技大会。初日の夜は花火が彩り、ライトアップされた熱気球が浮かぶ。



7月中旬

●にっこうしんじゃさいれい
三荒神社祭礼

境内では「巫女節」や「豊年獅子舞」が披露され、市街地では巫女節奉納行列が練り歩く。

8月中旬

●やまもとやまこうげんのひまわりばけ
山本山高原のひまわり畑

山本山高原の沢山ポケットパークの向かいにひまわり畑が広がる。展望台も設置される。



8月中旬

●おちやまつり
おちやまつり

1日目は民謡流し、仮装盆踊り。2日目はからくり万灯パレード、花火大会。3日目は闘牛パレードなどを開催する小千谷市最大の市民祭り。



錦鯉生産者リスト

- | | | |
|----------|----------------|-----------------|
| 1 鈴木俊郎 | ☎090-4962-8860 | 長岡市山古志東竹沢甲160-1 |
| 2 倉兵工養鯉場 | ☎0258-59-3772 | 小千谷市大字塩谷343-1 |
| 3 鯉のかんすけ | ☎080-6594-8353 | 小千谷市大字塩谷634 |
| 4 星野隆徳 | ☎0258-59-3520 | 小千谷市大字塩谷160 |
| 5 おやし養鯉場 | ☎090-2254-6376 | 小千谷市大字塩谷161-3 |
| 6 和泉屋養鯉場 | ☎0258-59-2677 | 小千谷市大字南荷頃3072-3 |
| 7 丸博養鯉場 | ☎080-6539-1853 | 小千谷市大字南荷頃3417 |
| 8 坂詰養鯉場 | ☎090-1040-7622 | 小千谷市大字浦柄1072 |
| 9 細海養鯉場 | ☎090-4385-6879 | 小千谷市大字桜町5118-1 |
| 10 ぶれしやす | ☎0258-84-2665 | 小千谷市片貝町6390 |

●掲載以外の生産者の問合せ先
小千谷市錦鯉漁業協同組合
☎0258-41-1405
http://ojiya-koi.com/

問合せ先

- 観光
小千谷観光協会 ☎0258-83-3512
- 錦鯉
小千谷市農林課 ☎0258-83-3510
- 道路
日本道路交通情報センター関越道情報 ☎050-3369-6762
日本道路交通情報センター新潟地方高速情報 ☎050-3369-6765
- 鉄道
JR東日本お問い合わせセンター ☎050-2016-1600
- 高速バス
新潟交通高速バス予約センター ☎025-241-9000
越後交通長岡駅東口案内所 ☎0258-34-3251
西武バス座席センター ☎03-5910-2525

ご利用にあたって

- 本誌記載のデータは2017年1月のものです。発行後にデータが変更になる場合がありますので、お出かけの際には電話等で事前に確認されることをおすすめいたします。なお、本誌記載内容による損害等は補償いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本誌記載の料金は、原則として取材時点での税率をもとにした消費税込みの料金です。その後、各種料金に変更されることがありますので、ご利用の際はご注意ください。●本誌記載の入館料などは大人料金を掲載しています。●定休日は原則として、年末年始・お盆・ゴールデンウィークを省略しています。●利用時間は特記以外、原則として開店(館)～閉店(館)です。オーダーストップや入店(館)時間は通常閉店(館)の30分～1時間前です。●交通情報については、天災の影響や季節などにより変動する場合がありますので、お出かけの際には各交通機関にお問合せください。

発行/小千谷市農林課

企画・編集・制作/JTBパブリッシング

©JTBパブリッシング/小千谷市農林課